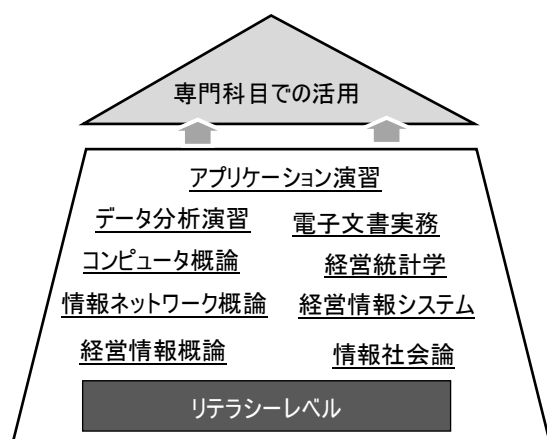


4 文理融合データサイエンス教育

数理・データサイエンス・AIは、今後のデジタル社会の基礎知識であり、すべての学部生が身につけておくべき素養ととらえ、本学では「文理融合データサイエンス教育プログラム」によって、大学における学び・研究や、将来の仕事・生活に役立つ数理・データサイエンス・AIの知識・技術を体系的に学びます。短期大学部に在学中には、すべての学生が身につけるべき基礎的な「リテラシーレベル」を学修し、四大に編入学することで「応用基礎レベル」を学修することができます。

1) プログラムの科目編成と学修目標



リテラシーレベルの学修目標

- 数理・データサイエンス・AIが社会でどのように活用されているのか理解し、自らの専門分野の学びに活用することができるための基礎的素養を身につける。

2) プログラムの修了要件

対応科目	リテラシーレベル修了要件		備考
	必修	選択	
経営情報概論	2単位 [A]		[A]に加え、[B]～[D]を満たすこと
情報社会論	2単位 [A]		
情報ネットワーク概論		選択 2単位以上	
経営情報システム論		[B]	
コンピュータ概論		選択 2単位以上	
経営統計学		[C]	
データ分析演習		選択 2単位以上	
電子文書実務		[D]	
アプリケーション演習			

3) 履修上の留意点

- ・教育プログラムへのエントリーは必要ありません（受講科目ごとの履修登録は必要です）。
- ・リテラシーレベルを修了した場合、成績証明書にその旨が明記されます。
- ・四大へ編入学したのち、応用基礎レベルを修了するためには、四大の1～4年生を対象とした応用基礎レベル対応科目を履修する必要があります。なお、四大の科目については、短期大学部に在学中にも履修することができます（岩手県立大学単位互換制度を利用）。
- ・**四大**の応用基礎レベルでは、リテラシーレベルの発展的な内容を学ぶために、「データサイエンス応用Ⅰ・Ⅱ」などが開講されます。